

インテリアのおはなし

ヤマシタ

株式会社山下家具店

WHAT

インテリアとは？

インテリアは暮らしと文化が結集されたもの。

“インテリア”という言葉を目にする機会はたくさんあると思いますが、では、具体的に何を指しているのでしょうか。

家具はもちろん、カーペットや壁紙、カーテン、照明器具、キッチンなどの設備機器もすべてインテリア。“インテリア”は、室内空間を彩る「室内装飾品」を意味します。

最近では「インテリア家電」「インテリアグリーン」といった、装飾品としての役割を持ったデザインの家電や植物などもたくさん登場し、気持良く生活するために一役買っています。

インテリアは暮らしと文化が結集されたもの。

自分のライフスタイルに合わせた「あなたらしい」お部屋づくりを心掛け、快適な毎日を過ごせるように考えてみましょう。

インテリアコーディネートって？

コーディネートの目的

インテリアコーディネートの目的は、住む人にとって美しく暮らしやすい生活の場にすること。そのために「空間」「人」「モノ」が調和するようにインテリアを選び、バランスを取りながらコーディネートしていく必要があります。

コーディネートの際に求められるのは、「自分らしさ」と「心地よい空間」です。

これを実現するためには、次のポイントを考えてみることが重要です。

- ・自分がどんな暮らし方をしたいのか

- ・自分にとって居心地がよいとはどんな状態なのか

また、いくつかのポイントを押さえてコーディネートすると、住空間をより快適なものにすることができます。

快適なコーディネートのための5つのポイント



空間の形や広さに対して、家具・照明器具などのサイズや分量のバランスが取れていること。また、配置と動線が適切かどうかということも大切です。



使いやすさ、安全性、室内環境の快適さ（夏涼しく、冬暖かく）など。家具や照明は用途に適した機能と使いやすさ、安全性を重視します。



スタイル、パターン、色、材質、光など視覚面の美的効果やその他、五感に対する配慮が大切です。



グレード、価値観、耐久性などを意識して費用のバランスを考えます。イニシャルコスト（最初の設備費）だけでなく、ランニングコスト（電気・ガス代）やメンテナンスコストなども考慮します。



いくらデザインがよくても、造りが粗雑だと安っぽく見えます。家具、カーテンの仕立て、壁紙貼りなど、加工・施工の良し悪しも快適性に影響するので重要です。

コーディネートの進め方

ステキな部屋を想像してコーディネートしたのに、「こんなハズじゃなかつた」という失敗をしたことはありませんか？

こんなハズじゃなかつた…

- 家具が大きすぎて部屋が窮屈になった
- 好きな色やカタチでインテリアを揃えたらまとまりがなくなった
- 好きな柄のカーテンが浮いてしまい、しっくりこない

わからない！選べない！

- 家具やラグの配置をどうしたらいいのかわからない
- 照明の取り入れ方が分からない
- 部屋に合うカーテンが選べない

上手にコーディネートするためには、最初にインテリアイメージ（感覚的な好み）をはっきりさせることが大切です。

そのイメージをインテリアスタイルや材質・カラー等と合わせ、家具やカーペット・カーテン、照明などのインテリアを選んでいきます。

ポイント1 イメージの統一

ナチュラルな雰囲気の部屋にしたいとか、クラシックで落ち着いた雰囲気でまとめたいとか、クールでモダンな感じにしたいといったイメージを心に描いておき、その雰囲気に添ってまとめていきます。雑誌の写真や、モデルルームの写真を参考にして、気に入ったスタイルの例を集めておくといいでしょう。

新しく家具を購入するときは、例えば、ナチュラルな雰囲気の部屋にしたい時には、明るい木の色の家具や白い家具が合います。床の色がもし、少し濃く、重く感じたら、床に明るい色のラグを敷くことで、全体にまとまります。カーテンも、家具に合わせて、ナチュラルなイメージの、例えば、ざっくりした織りの素材を選びます。そんなふうに、床と家具とカーテンのイメージが合うように選び、さらにイメージを強調するような置物を置いたり、壁にナチュラル感のある額を掛けると統一感が一層出でてきます。

ポイント2 カラーコーディネート

統一感を出すためにとても大切なのが、色の取り合わせ（カラーコーディネート）です。

部屋のインテリアに使うメインの色は1色か2色とします。あまり濃い色ではないほうが無難です。

そして、その他に、アクセントカラーとして、鮮やかな色を使うと印象的になります。

例えば、カーテンの色とソファや椅子の張り地の色を、同じ系統の色（例えば白とベージュ）でまとめます。

そして、ソファに、白とベージュのクッションを置き、さらに、鮮やかなブルーのクッションを1~2個置くと、アクセントとなって、洗練された印象になります。同じブルーの色を、置物やランチョンマットなどにも使うとリズム感が出てきます。

代表的なインテリアスタイル

「カントリー」「和モダン」「スカンジナビアンモダン（北欧モダン）」など、インテリアスタイルを分類する言葉はたくさんありますが、代表的なインテリアスタイルは以下の4つです。



日本では、「和風」「民芸調」などがあります。

インテリアの効果~心理効果~

心地良い空間づくりには“五感（感覚機能）”を意識することも大切なポイントです。

癒される・元気になる・幸せな気分になるインテリアとは

- **視覚** 基本は色。四季のしつらいも色で表現すれば涼しさや温かさが伝わります。
- **聴覚** お気に入りの音楽をインテリアにプラス！目に見えないインテリアがお部屋の雰囲気を演出します。
- **触覚** 素材の手触りや質感はインテリアの大重要な要素。触り心地のよい家具で気分も安らぎます。
- **嗅覚** 香りもインテリアの演出のひとつ。好きなアロマの香りでリフレッシュ。
- **味覚** お料理をもっと美味しくするには、インテリアのカラーや照明の工夫をしましょう。

カラーコーディネート（色彩計画）のポイント

どこに、どの色を、どのくらいの分量で使うかを決定することを「色彩計画」といいます。

一般的に、「**ベースカラー**」「**メインカラー**」「**アクセントカラー**」の3つで組み立てます。

色数を4~5色程度に抑えてコーディネートすると部屋全体がきれいにまとまります。

	アイテムの種類	面積	耐用年数	変更費用	一般的に適した色
ベースカラー	床・壁・天井の内装材	70%	長	高	毎日見ても飽きのこないベーシックな色。 基本的には白やアイボリーが多い。
メインカラー	家具全般、ラグ、ウインドウトリートメント等	25%	中	中	インテリアの主役になる色。 家具の「濃い・薄い」という選択で印象が大きく変化する。
アクセントカラー	クッション、照明、オブジェ・壁面アート等	5%	短	安	ポイントに好みの色を使って雰囲気を変える。 小さな面積のため個性的な色・柄も可。

ベースカラーは白またはアイボリーのような優しい色を用いると落ち着いた空間に感じます。

また、白っぽい壁や天井は部屋を広く見せる効果があります。

従って、部屋のイメージカラーは、カーテンや家具で決定していくと良いでしょう。

人間は情報の多くを視覚から得ますので、広い領域には彩度*を落とした色を使い、彩度の高い色は範囲を限定して使うなど、目的と滞在時間を考慮したカラーコーディネートが必要です。

* 色の鮮やかさや、色味の強さの度合い。白・黒・灰色を混ぜると彩度は低くなります。

インテリアにおける色彩の果たす役割・効果

色から受ける印象によって何らかの心理的・生理的作用が働くため、代表的な色から受ける心理的・生理的作用と、それぞれの生活環境に適したカラーコーディネートをご紹介します。

色	生理的作用	心理的作用	
白	呼吸器系に作用し呼吸を楽にする効果がある。すっきりして張りのある感覚がある。	清潔感。若々しい。空間を広く感じさせる。	一般住宅の居室 医療施設や公共施設
黄	消化器系の働きを促進して消化不良、胃炎、糖尿病などに良い働きがある。自律神経の働きを活発にする。	時間の経過を遅く感じさせる。 知性と理解力を刺激する。	キッチンや子供部屋 くつろぎのスペース、トイレ
赤・橙	心拍数を上げ体温を上昇させる働き。新陳代謝を活発にし、自律神経を刺激して食欲を増進する。消化吸收を高める。	人を元気にし、生きるエネルギーを与える。	リビングダイニング
ピンク	女性ホルモンの分泌を促し、若々しくなる。筋肉の緊張・弛緩を表すライト・トナス値が最も低くなる色で、交感神経に働きかけ脳を活性化し、血行を良くする。	心身を和らげる効果。緊張をほぐし落ち着いて行動ができる。	婦人科系の医療施設 週末を過ごすシティホテル
紫	神経系の反射を鋭くし、自己治癒力を促す。身体の回復機能を高める。	ラベンダーに代表されるようにリラグゼーション効果がある。感受性を高め、情緒を豊かにする。	寝室や書斎 寝具に淡い紫を使うと、深い眠りにつくといわれる。
青	血圧、脈拍数の上昇を抑える鎮静効果。高血圧症、不眠症の改善。	心を落ち着かせる、心を律する色。集中力を高める。時間の経過が早く感じる。	書斎などのプライベートルーム
緑	脳の興奮を鎮める鎮静効果。筋肉の緊張を和らげる。視神経の疲労回復効果。免疫力を高める。	リラックス効果。平常心、安心感を取り戻す。ストレス解消。	医療機関をはじめ様々な生活環境 成長期の子供部屋に緑色を使うと、人間関係を作るのが上手になる、安心感が得られるなどの効果がある。

ウィンドウトリートメント

ウィンドウトリートメントとは、カーテンやブラインドのように窓まわりに施される器具の総称です。

壁面積の多くを占める**メインカラー**となる存在のため、
ウィンドウトリートメント選びはインテリアの重要な
ポイントとなります。

また、デザイン性だけでなく機能性も十分考慮する必
要があります。

膨大な種類の製品が、各メーカーから発売されており、
使用方法や可動方向も様々です。

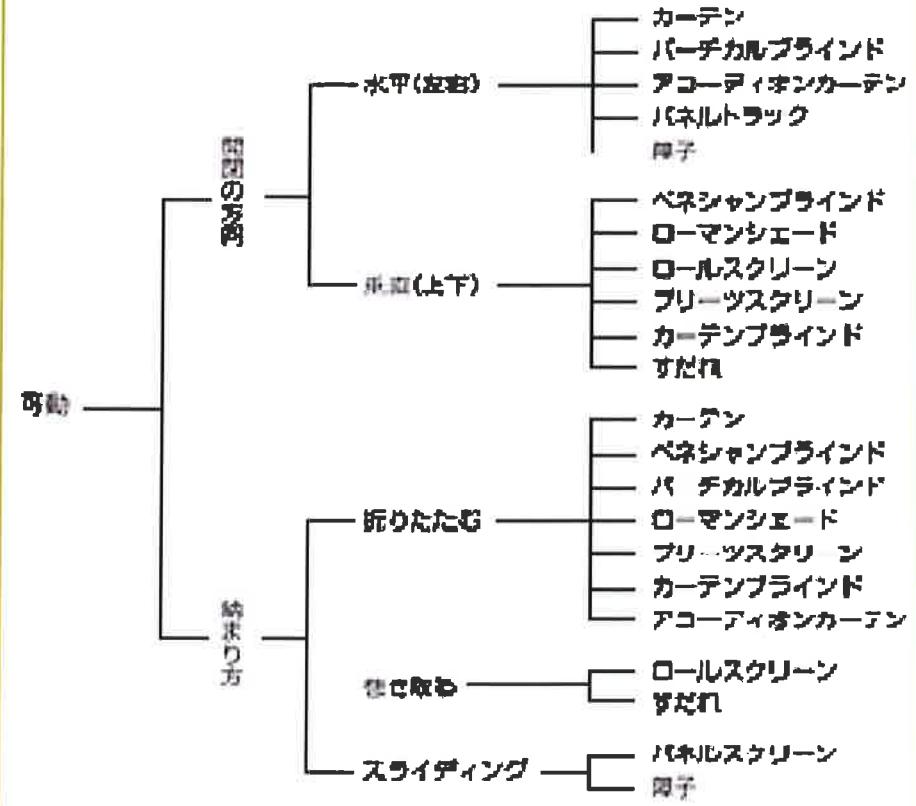
窓の形や形状、位置、仕様にもそれだけ多くの種類が
あるといえます。

よく見極めて、製品を選び、その中から色やスタイル
を決めていくことになります。

最初から全部、自分で決めるのは困難と言えます。

プロのスタッフから、状況に合ったウィンドウトリートメントを提案してもらうことが早道です。

ウィンドウトリートメントを彩るさまざまな商品



ウィンドウトリートメントの選び方

カーテンを上手にコーディネートする為には、カーテンをお部屋の主役にするか脇役にするかが決め手となります。カーテンを目立たせたくない場合は壁に近い色を選べば空間に広がりが生まれ、家具やお気に入りの絵などを引き立たせることができます。反対に、カーテンをお部屋のアクセントとして使う場合は、大胆な柄や鮮やかな色にすると印象深い空間が生まれます。その際に、置物やクッションなどにカーテンの中の1色を使うとバランスの取れた空間となります。



主役カーテン



脇役カーテン

インテリアのイメージを決める

あなたの好きなインテリア、創りたいインテリアはどんなイメージですか？

お好きなインテリアのイメージを基準にしてカーテンを選べばお部屋全体を上手にコーディネートすることができます。



カジュアル



モダン



ナチュラル



クラシック



エレガント

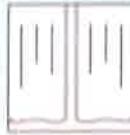


和

ウィンドウトリートメントの種類と機能性

種類

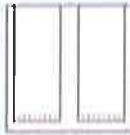
左右開閉タイプ



カーテン

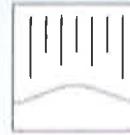


バーチカルブラインド



パネルカーテン

固定式タイプ



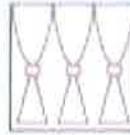
スカラップカーブ



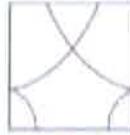
センタークロス



セパレートシングル

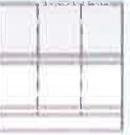


セパレート

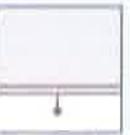


クロスオーバー

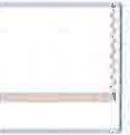
上下開閉タイプ



ローマンシェード



ロールスクリーン



プリーツスクリーン



ウォッシュブル

洗濯機で洗えます。

ご家庭で手軽に洗濯できます。(40℃までの液温で洗濯機の弱水流又は手洗い。)



遮熱

遮熱

遮熱率25%以上(小数点以下一位四捨五入)、採光率0.6%以上のシーカーテンに表示されます。シーカーテンとは、レース・ポイル・オーガンジー・エンブロイダリー・ケースメント・薄手生地のプリントカーテンのことをさします。



ハーフミラー

ハーフミラーレース

日中、室外から見えにくく、室内から室外は見えるハーフミラーのような効果のあるレースカーテンです。

レース本来の通気性や採光性は損なわずに太陽光線(紫外線・赤外線)を約40~60%カットしますので、夏の冷房効率をアップし、室内の日焼けも防ぎます。



オフシェイドマーク

「オフシェイド」クラス1~4は、ポイル・レースなどの薄地カーテンが、どの程度室内のプライバシーを保護しているかを4段階で表したものです。生地の右下にクラス1~4を表記しています。

機能性



遮光性
1級 2級 3級

遮光率99.40%以上の遮光性能を有する製品に表示されます。

表示には、カーテンの遮光性試験方法(JIS L 1055 A法10万ルクス)に基づき遮光率を測定し、3段階の基準を設け、それぞれ遮光1・2・3級と等級を定めました。

等級	1級	2級	3級
遮光率	99.99%以上	99.80%以上~99.99%未満	99.40%以上~99.80%未満
照度	ルクス超~10ルクス以下	10ルクス超~200ルクス以下	200ルクス超~600ルクス以下
照度の状態	人の顔の表情が識別できないレベル	人の顔あるいは表情がわかるレベル	人の表情はわかるが、事務作業には暗いレベル



UVカット

ランクS ランクA ランクB ランクC

UVカット

日焼けの原因として知られる紫外線は、室内的インテリアなどを変色・劣化させる心配があります。そこで当社では、ハーフミラーレースをはじめ、すべての薄地カーテンにUVカットレベルを表示しました。生地をフラットにした状態でのランク分けですので、ヒダを取ることでUVカット率が高まる場合もあります。

	おすすめ	UVカット率
ランクS	より紫外線を避けたいお部屋に	80%以上
ランクA	陽ざしの強い南向きのお部屋に	60~80%
ランクB	光の透け感とUVカットの両方の効果が欲しい場合に	40~60%
ランクC	生地の透け感の美しさを存分に楽しみたい場合に	40%未満

